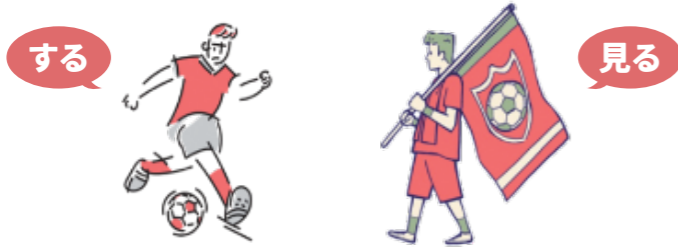




蹴球都市藤枝 Next100 スポーツツーリズムプロジェクト

スポーツを資源とした人の流れと地域活性化を創出



地域課題

- ▶ 定型化された情報発信
- ▶ 低い観光消費額
- ▶ 2024年問題による二次交通

地域の強み

- ▶ 100年のサッカー文化とスポーツを核としたまちづくり
- ▶ 藤枝MYFCのJ2での活躍、盛り上がり
- ▶ 歴史資源と日本遺産認定、豊かな自然
- ▶ お茶や食資源のブランド力(玉露、朝ラー等)

サッカーは見に来るがその先の回遊、消費に繋がらず...

豊富な資源を有効活用できずバラバラ...

観光客の消費や嗜好等の動向が掴めない...



観光DX



DX推進のねらい

- 利便性向上と消費拡大
- 生産性向上と経営高度化
- データによる観光戦略構築
- 観光デジタル人材の育成

目指す姿

- 新たな誘客と周遊促進、「稼ぐ観光」の確立
- データによる観光地経営
- 持続可能な観光地モデル

取組① ターゲットに適した情報発信

ターゲットに適した媒体や手法で、情報を提供するとともに、地域内のアクティビティ等の予約のオンライン化を図ります。



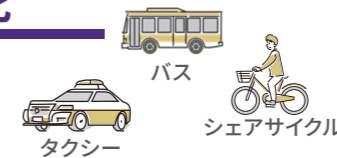
取組② 事業者プラットフォームの構築

生成AIを活用したチャットツールを用いて、スポーツ・イベント等の来場予測等の情報共有やその状況に対する施策等のレコメンドを行い、事業者の効果的な施策展開をサポートします。



取組③ 輸送手段の効率化

来場者数等に応じて、相乗りや他モビリティを推奨するなどし、効率的な輸送の実現を目指します。



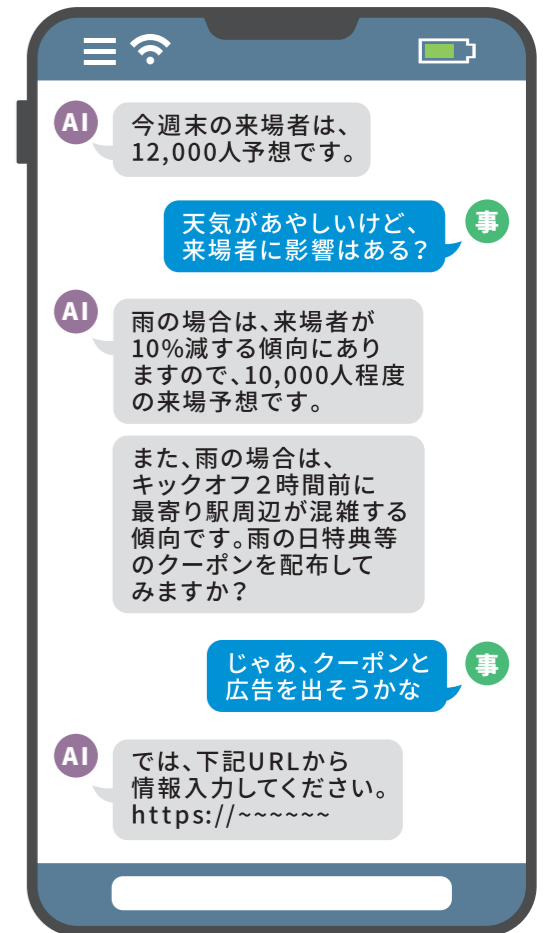
取組④ デジタル人材育成・活用

藤枝市民大学等と連携し、デジタル人材および街づくり人材の育成と活用に取り組みます。



【チャットのイメージ】

生成AI ↔ 事業者



R6で実施する

スポーツを「見る」「する」ためにスタジアムに訪れる

地域で消費が促進され、地域経済が潤う

R8で循環の自走化を図る

新たな層が興味を持ったり、ファンが周りの人々を連れてくる

新しい店舗や商品、取り組みが生まれ、地域の魅力が上がる

R7で取り組みを拡大させる